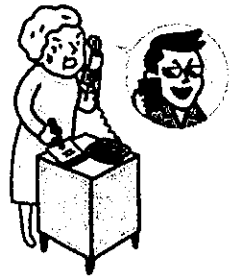


《積極的に推進する取組》

○特殊詐欺の被害防止

- ・相手の電話番号の表示や非通知の相手に番号通知を求めるサービス、国際電話番号の利用を休止するサービスを導入し、犯人と話さない対策をしましょう。
- ・被害防止機能付き電話機を設置したり、在宅時でも常時留守番電話に設定しましょう。
- ・孫などの親族・警察・市役所等をかたった電話が来た際には、一度電話を切り、落ち着いて警察や家族に相談しましょう。
- ・特にニセ警察詐欺が横行しているため「SNSでの通話を求められた」「SNSで逮捕状や警察手帳の画像を送ってきた（見せられた）」「捜査等の口実で金銭を要求された」場合は、必ず最寄りの警察に相談しましょう。
- ・携帯電話での対策として各キャリア等の迷惑電話防止サービス、詐欺対策アプリを導入し、携帯電話のセキュリティレベルを上げましょう。



○SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止

- ・SNSだけでやりとりしている人からお金や投資の話をされたら、警察や家族に相談しましょう。
- ・「必ず儲かる」「投資に詳しい人を紹介する」は詐欺を疑いましょう。
- ・振込先が頻繁に変わる場合は詐欺なので注意しましょう。



○子供と女性の犯罪被害防止

- ・地域ぐるみで子供の見守りを行いましょう。
- ・もしものときに駆け込むことができるよう「こども110番の家」やコンビニエンスストア等の場所を確認しておきましょう。
- ・不審者に気付くのが遅れるため、スマートフォン等を操作しながら歩くことはやめましょう。
- ・防犯ブザー機能や痴漢撃退機能もある愛知県警察公式アプリ「アイチポリス」をダウンロードして活用しましょう。

ダウンロードはこちらから



App Store



Google Play

※本アプリは無料で利用できますが、ダウンロード及び利用時にはデータ通信料がかかります。
※Apple及びAppleのロゴは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
※Apple Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
※Google Play及びGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

○侵入盗の被害防止

- ・店舗や事業所を不在にする場合は、現金は保管せず、出入口に「現金ゼロ」の防犯宣言を掲示しましょう。やむを得ず現金を保管する際は、防犯性の高い金庫を導入しましょう。
- ・スマートフォンに異常を知らせる等の機能を持つスマートフォン連動型の防犯カメラを活用しましょう。
- ・ドアや窓等は防犯性の高いC P建物部品の導入、補助錠や警報装置など防犯器具を活用した対策をし、戸締りを徹底しましょう。
- ・旅行など外出していることをSNSなどで発信するのはやめましょう。
- ・訪問者に応対する時は、ドアを開ける前にまずインターフォン等で、誰が来たのかを確認しましょう。



○自動車盗の被害防止

- ・純正セキュリティのアップグレードを行うと同時に、スマートフォン連動型の防犯カメラ、警報装置、GPS等の追跡装置、イモビライザ等追加の電子機器類やナンバープレート盗難防止ネジを取り付けましょう。
- ・ハンドル固定装置、タイヤロック等複数の防犯装置を組み合わせましょう。
- ・短時間でも車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、窓を閉め、ドアをロックするとともに、車内にエンジンキーやバッグ等を置いたままにしないようにしましょう。
- ・管理人が常駐し、照明や防犯カメラなどが設置されている駐車場を選びましょう。



○暴力追放運動の推進

- ・暴力団追放！「三ない運動＋1（利用しない。恐れない。金を出さない。＋交際しない。）」を推進しましょう。
- ・少年を暴力団等の反社会的勢力に加入させない取組に協力しましょう。
- ・暴力団から真に離脱した者の社会復帰について理解し、支援しましょう。

